

| | | | |
|---|-----------------|--------------------------------|--|
| 平成23年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 5年・前期・B群 | |
| | 対象学科・専攻 | 土木工学科 | |
| 応用測量学実習 (Training of Surveying) | 担当教員 | 西留 清 (Nishidome, Kiyoshi) | |
| | 教員室 | 都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel. 42- 9119) | |
| | E-Mail | nisdome@kagoshima-ct. ac. jp | |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 実習 / 履修単位 / 1単位 | | |
| 週あたりの学習時間と回数 | 授業 (100分) × 15回 | | |
| [本科目の目標] 測量学実習 I に引き続き基礎・応用で、「建設省公共測量作業規定」等を参考にして、測量作業の具体的基準を把握できるように努め、路線計画を実習することにより、これらの基礎知識を会得する技術を学ぶ。 | | | |
| [本科目の位置付け] 応用測量学実習は、応用測量学により学習した内容で実施される。 | | | |
| [学習上の留意点] 交通工学での基礎知識及び測量学実習 I で学んだ平板、レベル、トランシット器具の取扱いを完全に修得している必要がある。測量実習のできる服装で、グループ実習を行う。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授業項目に対する達成目標 | 予習の内容 |
| 1. 応用測量実習 | 2 | 地形図の全般に関する測量方法を理解できる | 地形測量について参考書等を使って調べて、概略を理解しておく。 写真測量の内容について、教科書・参考書等を読んで概要を把握しておく。 |
| | 2 | 平板、レベル、トランシットの使用法を理解できる | |
| | 2 | トラバース測量の内業計算ができる | |
| | 4 | 座標法逆計算による路線測量を実施することができる | |
| | 2 | 縦断測量及び計算を理解できる | |
| | 2 | 縦断図の作成 (内業) ができる | |
| | 2 | 横断測量及び計算ができる | |
| | 2 | 横断図の作成 (内業) ができる | |
| | 4 | 写真測量を実施することができる | |
| | 4 | 土工計画ができる (土量算出) | |
| 4 | 平面計画ができる | | |

